



umango

処理のソース・電子メール手順書

電子メール

電子メール アカウントを処理のソースとして設定すると、Umango は電子メールの受信トレイを監視し、必要な電子メールの添付ファイルおよび/または電子メールの本文を処理します。処理のソースとして電子メールアカウントを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「ソース(1)」タブをクリックし、「コネクタ(2)」サブタブをクリックしてください。

The screenshot shows the 'Edit Processing - Selectable PDF' configuration interface. At the top, there are tabs: 詳細 (Details), ソース (Sources), ユーザ (User), 自動化 (Automation), インデックス (Index), 「ゾーン」 (Zone), 分離 (Separation), 画像の強化 (Image Enhancement), and 保存先 (Save Location). The 'ソース' tab is selected, and the 'Connectors' sub-tab under it is also highlighted with a red box and labeled '2'. Below these tabs, there is a section titled 'ドキュメントソース' (Document Sources) with a checkbox: 'この処理をすべてのコンピューター/ブラウザーのドキュメントドロップに追加する' (Add this processing to all computer/browser document drops). A note below states: '以下のインポートソースは、このジョブのプロセスへのエントリポイントです。ジョブサービスの実行中に、ドキュメントは以下の有効なソースからインポートされます。' (Import sources are entry points for this job's process. During execution, documents are imported from the following effective sources.)

ソース構成へのアクセス

2. 「コネクタの追加」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the same configuration interface as the previous one, but now the 'Connectors' sub-tab is selected. At the top, the tabs are: 詳細 (Details), ソース (Sources), ユーザ (User), 自動化 (Automation), インデックス (Index), 「ゾーン」 (Zone), 分離 (Separation), 画像の強化 (Image Enhancement), and 保存先 (Save Location). The 'Connectors' sub-tab is selected. Below the tabs, there is a section titled 'ドキュメントソース' (Document Sources) with a checkbox: 'この処理をすべてのコンピューター/ブラウザーのドキュメントドロップに追加する' (Add this processing to all computer/browser document drops). A note below states: '以下のインポートソースは、このジョブのプロセスへのエントリポイントです。ジョブサービスの実行中に、ドキュメントは以下の有効なソースからインポートされます。' (Import sources are entry points for this job's process. During execution, documents are imported from the following effective sources.) At the bottom left, there is a blue button labeled '+ コネクタの追加' (Add Connector), which is highlighted with a red box and labeled '2'.

「コネクタの追加」ボタン

3. ご希望のメールのプロトコルに「追加」ボタンをクリックします。

以下のコネクタのリストからインポートソースを追加します。

ソース	組織	業界	カテゴリー	説明	操作
ネットワークフォルダ	Umango	すべての産業	その他	ネットワーク フォルダーと(オプションで)そのサブフォルダーで新しいファイルを監視します。	+ 追加
Email (IMAP)	Umango	すべての産業	その他	IMAPメールアカウントからメール本文や添付ファイル、および関連メタデータをキャプチャします	+ 追加
Email (POP3)	Umango	すべての産業	その他	POP3メールアカウントからメール本文や添付ファイル、および関連メタデータをキャプチャします	+ 追加
メール (Office365)	Umango	すべての産業	その他	送信者のメールがこの正規表現ルールを満たす場合(またはルールが空の場合)は、メールの添付ファイルを選択します。	+ 追加
OneDrive (ワンドライブ)	Microsoft	すべての産業	その他	OneDrive/SharePoint からドキュメントをインポートします。フォルダー構造を動的に監視し、受信ファイルを選択的にフィルター処理するオプションが含まれています。	+ 追加
				Imports documents and data from Microsoft SharePoint. Browse and	[...]

メールプロトコルの選択

4. メールサーバーの情報を入力します。

接続 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター

接続設定

メールサーバー	ポート
<input type="text"/>	993
ユーザ名	パスワード
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> SSL が有効	<button>テスト</button>

保存 キャンセル

POP3 および IMAP サーバーの設定



Office 365 サーバーの設定

5. 「設定」タブ (1) をクリックし、監視するメールボックスフォルダを選択します (2)。



メールボックスフォルダ選択

6. Umango がメールをチェック間隔(分単位)を入力します。

接続 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター

メールアドレス設定|
処理サービスを使用し、メールの添付ファイルを取得する
監視するフォルダを選択
INBOX ...

電子メールをチェックする間隔の分数
1

添付ファイルを解凍する
 メール本文を文書のように処理する

メールチェック間隔の設定

7. メール本文とメール添付ファイルのオプションを設定します。
電子メールの添付ファイルおよび/または電子メールの本文から OCR で情報を抽出するかどうか。

接続 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター

メールアドレス設定|
処理サービスを使用し、メールの添付ファイルを取得する
監視するフォルダを選択
INBOX ...

電子メールをチェックする間隔の分数
1

添付ファイルを解凍する
 メール本文を文書のように処理する

メールの添付ファイルと本文の設定

8. Umango が電子メールを処理した後に電子メールをどうするかを選択してください。(IMAP と Microsoft365 の設定のみ)

接続 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター

後処理オプション

応募先:

すべてのメール
Umango は、処理されたすべての電子メールを評価し、アクションを適用します。

選択フィルターに一致するメールのみ
Umango はフィルタリング ルールに基づいて各メールを評価します。アクションは指定された基準を満たすメールにのみ適用されます。

アクション:

メールを既読にする
 何もしないで①
 サーバーからメールを削除する ①
 メールをフォルダに移動する ①

保存先フォルダを選択

INBOX/PaperCutの処理されたメール

宛先フォルダーは監視フォルダーと同じにすることはできません。

処理後の設定

9. Umango で処理するファイルの種類を選択してください。(電子メールに選択したファイルの種類が添付されていない場合、電子メールは処理されません)

接続 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター

フィルタールール

ファイルの種類に基づいて、インポートされるファイルをフィルタリングします

*ポータブルドキュメント形式 (.pdf) *タグ付き画像ファイル (.tiff) *タグ付き画像ファイル (.tif)
*JPEG 画像ファイル (jpeg) *JPEG 画像ファイル (jpg) |

このリストに含まれていないファイル種類は無視され、処理対象として選択されません。

ファイル名のフィルター

REGEX(((.*PaperCut領収書.*)+\$))

名前がこの正規表現ルールに一致する場合（またはルールが空の場合）にファイルを選択します

添付ファイルの種類の選択

10. 添付ファイル名、メールの送信者、件名、本文をフィルタリングするためのテキストまたは正規表現 (REGEX) を入力してください。

接続 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター

フィルタールール

ファイルの種類に基づいて、インポートされるファイルをフィルタリングします

*ポータブルドキュメント形式 (.pdf) *タグ付き画像ファイル (.tiff) *タグ付き画像ファイル (.tif)
*JPEG 画像ファイル (.jpeg) *JPEG 画像ファイル (.jpg)

このリストに含まれていないファイル種類は無視され、処理対象として選択されません。

ファイル名のフィルター

REGEX(((.*PaperCut領収書+.*))\$)

名前がこの正規表現ルールに一致する場合（またはルールが空の場合）にファイルを選択します

送信者のメールアドレス

test@cosy.co.jp

送信者の電子メールがこの正規表現ルールを満たしている場合（またはルールが空の場合）、電子メールの添付ファイルを選択します

件名のフィルター

PaperCut ポイントチャージ

電子メールの件名がこの正規表現ルールを満たしている場合（またはルールが空の場合）、電子メールの添付ファイルを選択します

メール本文のフィルター

PaperCut ポイントチャージ

メール本文がこの正規表現ルールに一致する場合（またはルールが空の場合）、メールを選択します

メールの送信者、件名、本文のフィルタリング

フィルタリングを適用しない場合は、フィールドを空のままにしてください。正規表現(REGEX)の作成手順については、こちらのドキュメントを参照してください。

11. 保存ボタンをクリックしてください。

編集処理 - 選択可能なPDFに変更 行動 変更をやめ、ホーム画面へ戻る 保存
ソース ユーザ 自動化 インデックス 「ゾーン」 分離 画像の強化 保存先

コネクタ デバイス

ドキュメントソース

この処理をすべてのコンピューター/ブラウザーのドキュメントドロップに追加する

以下のインポートソースは、このジョブのプロセスへのエントリポイントです。ジョブサービスの実行中に、ドキュメントは以下の有効なソースからインポートされます。「コネクタの追加」ボタンを選択して、1つ以上のソースを追加します。各コネクタの設定を構成するには、対応するソースの「構成」ボタンを選択します。

保存ボタン

12. メールを監視するための処理サービスが開始されていることを確認してください。

The screenshot shows the 'Edit Processing - PaperCut Mail Monitor' configuration screen. On the left, a sidebar lists various processing types: Dashboard, Document Drop, Management, Document Type, Processing, Processing Services (with a red box around 'Start Processing Service'), PaperCut Mail Monitor, sawadatest, SharePoint Powerpoint Translation, and Quotation Software. The main area is titled 'Document Source' and contains a table with one row:

有効	コネクタ	優先度	ソースのヒント	説明	アクション	
<input checked="" type="checkbox"/>	Email (IMAP)	0		noreply@[REDACTED].com/INBOX	IMAPメールアカウントからメール本文や添付ファイル、および関連メタデータをキャプチャします	

At the bottom center of the interface, there is a message: '処理サービスの開始' (Start Processing Service).